



# 北鷹SSH通信

## 2015 No. 21

平成27年7月13日

あきたほくよう  
秋田県立秋田北鷹高等学校

本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

### SSH海外研修 『フランス国プレス・シャボン研修』 出発!!

今年度の海外研修は生物資源科3年の秋田北鷹ケイボン研究グループが4泊6日でフランスに行くことになり、7月11日(土)午後、フランス国プレス地方に向けて出発しました。

「秋田北鷹ケイボン」とは、雄のニワトリを去勢することによって肉質を柔らかくする研究で、このグループが研究を進めて3年目になりました。最近になってこの秋田北鷹ケイボンには多くのオレイン酸\*が含まれていることがわかり、その有用性についても研究が進められ、先日行われた秋田県学校農業クラブ連盟各種発表会プロジェクト発表部門で優秀賞を受賞し、東北大会への出場を決めました。

この去勢鶏先進国であるフランスでは、プレス鶏館で現地で実際に養鶏を行っている農場の皆さんとポスターセッションによって意見交流を図り、去勢鶏作りの技術を学んで来ることになっています。また、実際に農場(バスカルシャネル氏農場・ポアエリ農場)や解体処理場(オ・シャボン・プレッサン)を見学する予定なので、そこから秋田北鷹ケイボンの品質向上に向けたヒントを得てくることでしょう。

事前学習ではフランス語での発表に非常に熱心に取り組んでいた彼らですが、帰国後は様々な場面でその研修成果を活かし、研究成果を報告してくれることと期待しています。

※オレイン酸：オリーブ油・キャノーラ油・ナッツ類などに多く含まれる一価(単価)不飽和脂肪酸を代表する脂肪酸。不飽和脂肪酸の中では最も酸化されにくく、ヒトの体内では活性酸素と結びついて過酸化脂質をつくりにくいいため、動脈硬化・高血圧・心疾患などの生活習慣病を予防・改善するとして見直されている。



### SSH全国生徒研究発表会出場グループ決定!!

このSSH事業では毎年8月に全国のSSH校が一堂に会して行われる「生徒研究発表会」があります。今年度は8月5日(水)・6日(木)の2日間、大阪にある「インテックス大阪」を会場に開催されます。

秋田北鷹高校からは普通科3年B組のマイツルテンナンショウ班が代表に決定しました。

### 研究グループ紹介 3年B組 マイツルテンナンショウ班〔指導者:桜庭先生(生物)〕

私たちマイツルテンナンショウ班は、秋田北鷹高校で保護している天然記念物「マイツルテンナンショウ」を保全する目的でその生態調査を行っています。この調査は2012年に秋田大学が調査したものを2013年に当時の3年生が引き継ぎ、2014年から私たちが継続して研究しています。

マイツルテンナンショウはその立ち姿が舞っている鶴に似ていることから名付けられたサトイモ科テンナンショウ属の多年草です。四国や九州には比較的多くみられますが、東北地方ではその生息が確認されているのは秋田北鷹高校しかありません。また、この種は個体サイズが大きくなるにつれて無性株から雄株へ、雄株から両性株へと性転換することが知られています。私たちはこの種の保全を目的に研究しています。

2012年の秋田大学の研究では基部直径(地表近くの幹の太さ)と草丈が有効であり、この値が大きくなるほど両性株へ性転換すると述べています。しかし、個体数が18個体と非常に少ないことから、私たちが継続的に研究を進めてそのデータ数を増やし、この結果が信憑性の高いものであるということを証明しました。また私たちは、両性株は花柄(花の下にある幹の部分)が短くなる傾向があることに気づき調査を進めたところ、花柄が短いものが両性株へ性転換することを見つめました。

全国大会では多くの人たちにこの研究成果をみてもらい、多くの意見をいただきながら高いレベルで研究を行っている全国のSSH校の高校生と交流してきたいと思っています。また、その成果を2年生のマイツルテンナンショウ班に引き継いでいきたいと考えています。

